

「QC的問題解決の進め方」研修プログラム

改定日：

作成日：2019.10.10

作成者：青野洋己

日程	自	至	No.	問題解決手順（QCストーリー）	手法（QC 7つ道具）	所要 時間	WS	備考・資料
1 日 目	12:50	13:00		はじめに	グラフ	0:10	1 8	事前アンケート
	13:00	13:30		QC活動の必要性と進め方		0:30		別途資料配賦
	14:00	14:10		問題解決(QC)手法の基本		0:10		別途資料配賦
	14:10	14:15		(チーム編成)		0:05	0 0	メンバー紹介・役割
	14:15	15:15	1.	テーマの選定	職場・業務の問題点をつかみ、テーマを決める	0:10		
				1) 問題点の把握	チェックシート	0:20	0 1	
				2) 問題の重点化	パレート図	0:20	0 2	
				3) テーマの選定理由		0:10	0 3	実施内容の範囲と問題点認識
	15:15	15:25		《休憩》		0:10		
	15:25	16:35	2.	現状の把握	問題の現状の姿を事実・データでつかみ、悪さ加減を明らかにする	0:10		
				1) 対象の把握		0:20	0 4	予備投てき
				2) データ採取とグラフ化	折れ線グラフ	0:20	0 5	1 6 投、現状のデータ採取
2 日 目				3) 特性の把握	ヒストグラム	0:20	0 6	
	16:35	16:45	3.	目標の設定	現状を踏まえ、目標値と期限を決める			
				1) 目標の設定	グラフ	0:10	0 7	目標の3要素
	16:45	16:50		1日目のまとめ		0:05	1 8	活動の振り返り
	8:15	9:00		振り返りと今日の予定+「QC的ものの見方・考え方」		0:45		別途資料配賦
	9:00	9:15		(活動計画)	実施事項を決め日程・役割分担を決める	0:05		
				1) 活動スケジュール	ガントチャート	0:10	0 8	予定と実績
	9:15	10:45	4.	要因の解析	ばらつきを発生させている原因を究明する	0:10		
				1) 要因の整理	特性要因図	0:30	0 9	A3版配賦
				2) 要因の検証		0:50	1 0	実験検証
	10:45	10:55		《休憩》		0:10		
	10:55	11:40	5.	対策の検討	悪さを発生させている原因を取り除く方法を検討する	0:05		
				1) 最適値の設定		0:20	1 2	
				2) 最適値の範囲設定	散布図	0:20	1 3	
	11:40	12:30		《昼食休憩》		0:50		
	12:30	13:05	6.	実行	対策のスケジュールを立て、実施する	0:05		
				1) 実施と効果の検証	折れ線グラフ、ヒストグラム	0:30	1 4 1 5	改善後のデータ採取とグラフ化
	13:05	13:40	7.	効果の確認	効果を把握して目標と比較する。成果（有形・無形）をつか	0:10		
				1) 最適値による効果の確認		0:15	1 6	1 0 投。チーム間で競争
				2) 評価		0:10		
	13:40	14:00		《休憩》		0:10		
	14:00	14:10	8.	標準化と管理の定着	効果のあった対策を標準化し、管理の定着をはかる			
				1) 標準作業手順書		0:10	1 7	再発防止のための作業標準書
				2) 管理の定着				管理項目と維持管理方法
	14:10	14:30	9.	反省と残された課題	活動の良かった点と悪かった点を反省し、今後どうその反省を活かすか検討する			
				1) 活動まとめ	グラフ	0:20	1 8	活動の振り返り、残された課題
	14:30	14:50	1 0.	活動事例紹介		0:20		スライドにて
	14:50	15:00	1 1.	質疑応答とまとめ		0:10		

演習時間：10:05